



「人間が神様になることについて」

ちいろば会理事 木ノ脇 悦郎

二〇〇〇年十二月十二日 第三種郵便承認 毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行

「ちいろばだより223号」(2018年8月17日発行)で、『人間と天災』という題で書いた文章の中で、旧約聖書の『創世記』の中にある「バベルの塔」の話を取り上げました。その中で、人間が自分たちの賢さを自慢し、何でもできると思うようになったことに対して、神様が懲らしめのために「彼らが何を企てても、もう妨げることはできない。だから彼らの言葉を混乱させてお互いに言葉がわからないようにしてしまおう」といったことを取り上げました。最近、話題になっている本を読みました。ユヴァル・ノア・ハラリというユダヤ人の歴史学者が書いた『ホモ・デウス』という本です。とても面白いけれども、難しい本です。題名の『ホモ・デウス』は「神になった人間」または「神になろうとする人間」というような意味のようです。それには「テクノロジーとサピエンスの未来」というもう一つの小さな題が付けられていますから、人間の技術と知識を利用して人間が将来どのようなものになっていくのだろうかという問題を取り上げていることがわかります。

科学が発達していなかった時代に人間が恐れ、神様に何とかしてほしいと願い、祈ったことが三つあると著者は言います。それは病気と飢饉、それに戦争です。一つ一つについて詳しく説明しているのですが、簡単に言うと次のようになります。病気については、その理由が解り、どのように対処すればよいか明らかになって、人間が考え出した知恵と技術によってたいいの病気を治すことができるようになりました。飢饉が起こると、多くの人間は食べる物が無くなり死んでしまいましたが、土地を改良したり、日照りに強い種を開発したり、天候の予想を立てて対策を練ったりして食べ物を確実に得ることができるようになりました。戦争についても、全く無くなったわけではなく、地球上のいろいろな場所でもいつも争いがありますが、戦争で死ぬ人は昔に比べればうんと少なくなっているというのです。今では、戦争で死ぬ人の数よりも自殺で命をなくす人の数のほうが多いぐらいだそうです。このように、神様にお祈りしていたことが人間の知恵や技術によって実現できるようになれば、神様の出番は何もなくなってしまい、人間が神様のように要らないものは壊し、必要だと思われるものを創り出すことができる力を手に入れたこととなります。つまり、人間は神と同じになってしまうというのでしょうか。これが「ホモ・デウス」といわれる理由でしょう。今まで人間は「ホモ・サピエンス」と言われてきました。ホモは人間、サピエンスは知恵とか技術を表す言葉です。知恵や技術によって人間は神(デウス)になろうとしているというのが「ホモ・デウス」ということです。

では、技術や知識によって人間の心や意識をすべて理解したり、それをコントロールすることができるでしょうか。生物としての人間を分析する科学が人間の生きていく意味や生き甲斐を教えてくれるでしょうか。人間の知恵がどんなに発達しても、理解できず解決することのできない問題はあるのですね。考えることの大事さを教えられた本でした。

こそだ なか
子育ての中から

かいじ むちよう わだ やすこ
ちいろば会事務 長 和田 泰子

いぜん むすめ しゅっさん とし か
以前、娘を出産した時のことを書かせていただきましたが、その子がもう3歳になり昨年4月からこども園
かよ はじ はじ しゃかいせいいかつ かよ はじ ころ えん げんかん な つづ い
に通い始めました。初めての社会生活のスタートですから通い始めた頃は園の玄関で泣き続けていたり、行き
だだ だだ まいにち つづ
たくない駄々をこねる毎日が続きました。

がつ お ころ ともだち なまえ かいわ なか どうじよう はじ ころ まった いしき
しかし、5月も終わる頃になるとお友達の名前が会話の中に登場したり、初めの頃は全く意識していなかつ
たんになん せんせい はな ないよう けんめい つた ようす み
た担任の先生とお話しした内容など、たどたどしくはありますが懸命に伝えてくる様子を見ていて、ようやく
えん せいかつ な かぞくいがい しんらい ひと りかい あんしん
園の生活にも慣れ家族以外にも信頼できる人がいることを理解してきたなと安心していました。

えん せいかつ はじ けいけん むすめ せいちよう あ と く
こども園での生活は初めての経験ばかりだったのですが、娘の成長するスピードに合わせて取り組みをし
ていただき、あっという間に半年以上が過ぎました。

がつ きゅうじつ しちごさん いわ むすめ ひにちじよう おお できごと きょうい
11月のある休日には七五三のお祝いをしました。娘にとって非日常の大きな出来事だったので「今日行った
まるまるせんせい しちごさん い は き どうえん わたし しごと かえ きょうまるまる
ら〇〇先生に七五三したよって言うねん。」と張り切って登園したのですが、私が仕事から帰ると「今日〇〇
せんせい やす ざんねん ほうこく わたし あしたせんせい あ い
先生お休みやってん。」と残念そうに報告してきました。私が「じゃあ、明日先生に会ったら言えればいいよ。」
い むすめ なつとく つぎ ひ つぎ ひ むすめ きょう せんせい やす しちごさん
と言うと娘も納得していたのですが、次の日もその次の日も娘から「今日も先生お休みやった。七五三した
よって言いたいのに。」と言われ、私はモヤモヤした気持ちになり翌日主人に「今日も先生が休みやったら他の
せんせい き ねが きたく しゅじん こた き えんちよう はな
先生に聞いてみて。」とお願ひしました。帰宅して主人の答えを聞くと「そのことでしたらまた園長からお話し
おも わたし ことば き おも ころ こえ で
があると思いますので。」だったのです。私はその言葉を聞いて「やっぱりかあ...」と思わず心の声が出てし
まいました。

よくじつ はいふ ないよう たんにん まるまる つごう がつ にちづ たいしよく
その翌日おたよりが配布されました。内容は【クラス担任の〇〇は都合により11月15日付けで退職いたしま
した。】というものです。

せんせい や え じじよう のこ こ かぞく
もちろん先生にも辞めざるを得ない事情があったのでしょう。でも残されたクラスの子どもたちにとっては家族
いがい しんらい ひと じじつ きゅう やす つづ たいしよく けっか いた りかい
以外に信頼している人であったことも事実です。それが急にお休みが続き退職という結果に至っても理解で
きるはずありません。

むすめ いま まるまるせんせい しちごさん い せんせい ぼつぼつ じぶん
娘は今でも「〇〇先生に七五三したって言ってない。」「先生は××ぐみさんのことイヤやったん？」と自分で
せいり きも な しょうじきわたし むすめ なつとく こた かえ
は整理できない気持ちを投げかけてきます。でも正直私には娘が納得できる答えを返してやることはできま
せん。それと同時にちいろば園のメンバーが頭に浮かび、メンバーもこれまで職員の退職をたくさん経験す
なか せいり きも す とうじ えん あたま う しよくいん たいしよく けいけん
る中で整理できない気持ちのまま過ごしていたのだろうなと申し訳ない気持ちになりました。

ひとにはいろんな事情があり仕事を続けたくても続けられないことがあるかもしれません。私自身もこの先の
じんせい じぶん せいちよう
人生どうなるかなんてわかりません。でもここまで自分を成長させてくれたちいろばのメンバー、メンバーの
かぞく とも がんばり しよくいん きも かんが じぶん きも ゆうせん さ かつ
家族、共に頑張ってきた職員の気持ちを考えると自分の気持ちを優先させるばかりの去り方はしてはいけな
おも
いと思っています。

さいきんむすめ かのん ひと ほんにん い
最近娘が「ママは花音のママやねんけどな、ちいかまの人(本人はちいろばと言っているつもりです。)やねん。」
い ことば き むすめ せいちよう とも わたしじしん そしきじん み きかい あた
と言ったのです。その言葉を聞いて娘の成長と共に私自身が組織人であることを見つめなおす機会を与えら
かん
れたように感じました。

しゃしん とも しょうかい 写真で友だち紹介

このページでは、利用者の皆さんに、お友だちをひとり選んで写真を撮ってもらい紹介してもらいます。紹介をされた人には、次号であらたなお友だちを紹介してもらうという数珠つなぎのコーナーです。

ながおよしこ 長尾良子さんより くさのだいご 草野大悟さんを紹介しします。

草野さんは、背がたかくて
すらっとして男前だと思います。
優しい人で私がしんどい時に
心配してくれます。おでこにパワーをおくっ
てくれた。ギターをやってるふりながら歌って
おどってます。みると元気がでる、たのし
いです！



ふないひろふみ 船井裕史さんより たつみひろのり 辰己普宣さんを紹介しします。



辰己さんは、演歌を歌うのとぬり絵が上
手です。ぬり絵をしている時は、しずかに集中してや
っています。
また、いつもおもしろい人です。冗言をよよく言
い、みんなを笑わせたがるユーモアがある人です。
そこがおもしろい、だから一緒にいると楽しいです。
だから、また昔のように温泉受付業務に一緒に
行きたいです。



2018年12/1~2 『ピープルファースト大会in奈良』に参加してきました！

全国各地から900名を超す参加がありました。ちいろば園からは、21名の当事者のみなさんが参加しました。来年の大会は大阪で開催されます。今から楽しみです！！



～～ 参加者のみなさんの感想 ～～

- ◎ 交流会が楽しかったです。ダンスをしたり、ごはんを食べたり、いろんな人と名刺交換ができてうれしかったです。来年は、大阪です！ みなさん行きましょう！！(現地実行委員 小川あゆみ)
- ◎ 私は、大会までに何回も司会の練習をしました。閉会のあいさつの練習もがんばりました。交流会の司会は緊張しました。ごはんが食べれないぐらい忙しかったです。(現地実行委員 西田久美子)
- ◎ みんなの前でプラカードを初めて持ちました。当日は緊張して足がプルプルしたよ。交流会では、揚げ物が食べたかったけどカラになっていて食べれなかったです。(現地実行委員 長尾良子)
- ◎ 現地実行委員で、ひまわりの家のみんなと一緒に活動できてうれしかったです。大会では、マイク係をがんばりました。来年は大阪！地下鉄が見たいです。(現地実行委員 梶原拓馬)
- ◎ 交流会では、カレーライスがおいしかった。オレンジジュースを飲みました。ダンスをしました。とても楽しかったです。(現地実行委員 山田 援)
- ◎ オレは、いろんな人達と名刺交換したり、たくさん写真が撮れてうれしかったです。(斎藤総一郎)
- ◎ 立食パーティーが楽しかったです。バンド演奏で音楽を聴きました。うれしかったです。(石川 徹)
- ◎ タオルの販売をがんばった！近くに座った友だちと名刺交換をして友だちになりました。(横山文吾)
- ◎ 分科会「素敵な出会いをしましょう」では、たくさんの人達が僕の手を取り交流を求めてきてくれました。自然と笑顔になりました。(西村周也)
- ◎ ちいろば園からの参加者がいつもよりも多くて、みんなと行けたから楽しかったです。(梅田佐衣)
- ◎ 名刺交換がいっぱいできました。持っていた分全部交換できました。友だちの西田さんが司会をがんばっていたと思います。司会上手かったです。(前平正恭)
- ◎ 司会の人がかっこよかったです。ぼくも司会やりたい。文章すらすら読める自信あります！(辰巳普宣)
- ◎ 交流会でいろんな人から名刺をもらいました。私も渡しました。楽しかったです！(松本敬子)
- ◎ ものすごく人が多くてびっくりしました。交流会の食事を楽しむことができました。(吉田陽亮)
- ◎ 今年初めての「ピープルファースト大会in奈良」すごく楽しかった。また来年も行きたいです。(平山恵理)
- ◎ 名刺交換してダンスを一緒におどって楽しい時間を過ごしました。次に会える時が楽しみ！(竹下由里子)
- ◎ 初めて参加しました。交流会が楽しかったです。元気が出ました。(村上智子)
- ◎ 全体会と交流会と分科会と閉会式に参加しました。来年の大阪大会 行きます！！(西岡 務)
- ◎ 名刺交換しました。分科会「元気ができる話」で元気になりました。(吉井紗英)
- ◎ 交流会でおいしいごはんをいっぱい食べました。バンド演奏に合わせてハンカチをブンブン回して楽しみました。(吉岡佳菜)
- ◎ タオル販売で大きな声で言うてうれしかったです。来年は大阪に二日間行きたいです。(田口由里子)

グループホームの暮らし しょうかい 紹介します！！

ここではグループホームを利用しているみなさんがどのような暮らしをしているのかをしょうかい こんかい は、グループホーム“にぬふあ星”の紹介をします。

夕方4時53分 河合町で働いている林さんが帰ってきます。それと入れ替わりに、支援者が吉田酒店の近くまで、バスを迎えに行きます。皆さんが大きな声で「ただいま」と言ってくると、とてもいい気持ちになります。

玄関に入る前、横山さんは、新聞受けから、新聞をとり、テレビ欄を熱心に見ています。そうしているうちに、着替えの終わった石川さんが、お米を研ぎにきてくれます。支援者が「〇合お願いします。という、お米をボールに入れ、ごつごつした大きな手でお米を洗ってくれます。とっても丁寧です。それが終わると、カップでぴったりとお水を入れてくれます。量ったようにぴたっと合っているので魔法にかかったような気持ちになります。「できました」という石川さんの声を聞いて阿波さんが、炊飯器のスイッチを入れてくれます。「ピー」という音が鳴ると、とっても嬉しそうで満足した顔になります。それが、一通り終わると、順番にお風呂に入ります。みなさんお風呂が大好きで、気持ちよさそうに入っておられます。

夕食は、7時です。全員身体が大きいので、ビックリするくらい食べます。仕事のことや、園の行事のこと、休みの時、家に帰って何をしてきたか、また、ちいろば園とは違う所に行っている林さんのことは、特に気になるので質問をすることがあります。林さんは、ご当地アイドルのコンサートに行ったり、奈良マラソンに出たり積極的に活動されています。その時の様子をみんなで楽しく聞いています。

谷野さんは、何でも気軽に手伝ってくれ、時には、メンバーさんの困り事にも耳を傾けてくれています。好きなタレントの話や、車の話をして盛り上げてくれます。食器出しや盛りつけもすすんで手伝ってくれます。金曜日は、1週間がんばった自分へのご褒美としてビールを旨そうに飲んでいます。

横山さんは、おもしろいことを言ってみんなを楽しませてくれます。電車が好きでベランダや2階の手すりから眺めています。朝のゴミ出しや新聞取り等自分の役目としてがんばっています。

阿波さんは、お風呂が大好きで冬場は、30分ぐらいお湯につかっています。入った後、部屋で寝転びながらキーボードの音を聴いて楽しんでいます。1日の最後は、ベッドで耳掃除です。とっても気持ちよさそうです。そのままいつの間にか寝てしまっています。

10月から利用している梶原さんは、はじめは慣れないところに来て少しとまどっている姿も見られましたが、谷野さんから、「ぼくもそうやったよ。だんだん慣れてくるよ安心し」と優しく声をかけられだんだんうちとけてきました。その光景を見て、みんなで生活をする中で互いのことがわかり合え、いい笑顔がたくさん見られるようになり、支援者としてほほえましく思います。また、自分から各支援者に声かけをしてくれ、支援者の名前を書いてあるカレンダーを見ながら、「今日はAさん。明日は、Bさん。次来るのは、〇曜日。土曜日、お母さんお迎え。家帰る。月曜日 ホーム。にぬふあ」土日利用の時は「土、日 ホーム。家帰らない」と話してくれます。自分から少しずつ新しい環境に慣れようとしている様子がよく伝わってきます。部屋では、主にCDをよく聴いています。ひらけポンキッキやNHKのみんなの歌、学校で習った歌、戦隊ものの主題歌等を身体全体をつかって歌っています。石川さんや、阿波さんは、自分の好きな歌がかかると、ニコニコしています。また、DVDを見るのも好きで、主に、「渡る世間は鬼ばかり」と「近鉄電車」のシリーズをよく見えています。この頃、谷野さん、横山さんと3人で楽しそうに見ている姿がよく見かけられるようになりました。ほほえましく、見ていてほっこりします。

これからも何かをしなければと構えるのではなく、みなさんがほっこりし、安心して生活できるように一緒に考えていきたいと思ひます。

(グループホーム職員 しょうくいん さかぐちとしひさ 阪口寿久)

かいしょくいん ちいろば会職員リレー エッセー



『仕事をするうえで心がかけている事』

グループホーム職員 井上啓樹

私は勤続17年目。勤務年数の分だけ失敗の経験もまたあります。失敗したことで利用者や同僚・関係者に迷惑をかけしてしまうし、私自身悔しく・恥ずかしい。弱さからですが失敗したとき私には「他の誰かのせいにとしたら…」という考えがいつも頭をもたげます。そんな時に思い出すのは、ある宇宙飛行士のことばです。

「任務中に気を付けていることは？」とインタビューされ、その方は「完璧なマニュアルがあって練習や準備をしても現場の状況によりミスは生じる。ミスを繰り返さないためには恥ずかしくても自分のミスをチームに公表し共有することが大事だ。」と答えていました。宇宙飛行士という雲の上の存在の人がミスすることもある。と言うのはとても意外で同時にふっと肩の力が抜けて気持ちが軽くなる気がしました。

失敗も含めて経験したことを積極的に発信して「どんまい・どんまい。」ではだめで、そこに他の人もつまづくかもしれない課題がある。課題解決のために考えて成長できた分、私の職場の成長につながると考えるようになりました。

現在の私の担当はグループホーム。多くの仕事を抱えてしまったり余裕のない時ほどミスは起こります。基本的にひとりで業務にあたるので失敗すると一目瞭然なのですが、「私ばかりしんどい」「自分だけのせいじゃない…」という考えがムクムクと湧き上がります。前向きな道筋は見えたのに反対方向の『すべり台』をまたおりにしてしまいそうになるのです。

思い返せばミスを指摘されることや自分の非を認められないことは、ひとりよがりな孤独な状態であると言えます。

堂々巡りになりそうな私には定期的に開かれる権利擁護委員会の存在はとても大きい。アドバイザーの先生や出席していただいたご家族に「自分のミスを公表し、会議で検証している法人はまだまだ少ない」と言っただけですし、利用者本人の言葉に職員では気づかなかったことも教えてもらえます。

私たちの仕事は、特にグループホームは利用者にとってもうひとつの家であり、その生活を支援する者は利用者の権利をないがしろにしてしまう危険と常に隣り合わせであることを自覚し謙虚な姿勢で臨まなければいけません。

私が失敗にしたことを話すと「実は私も」と語ってくれました。そこで私はひとりぼっちで仕事をしているんじゃないと思えました。

「ヒヤリハッと報告書」などまだまだ活用できていないツールもあります。支援者集団として失敗をオープンにし、少し大げさですが痛みもふくめて共有する。これが支援者集団の将来を左右するかもしれないと私は考えています。

つぎ つちはし わた おも
次は、ちいろば園の 土橋さんにバトンを渡したいと思います。
テーマは引き続き『仕事をするうえで心がかけている事』です。
よろしくねが
お願いします。

♡♡♡ **バレンタインに向けた商品を販売します!** ♡♡♡

販売期間 **1月21日~2月15日**



ハートちゃん

1個150円

クーベルチョコクッキーを使った、

しっとりしたチョコケーキです。

(賞味期限 **5日間**)



バレンタインクッキー

1袋300円

「マカダミアナッツ&チョコチップクッキー」と
バンホーテンココアを使用した「ココアクッキー」
の二種類が入ったクッキーです。」

(賞味期限 **約1ヶ月**)



ブルーベリーのオーナー募集



2019年度のブルーベリーオーナーを募集しています。無農薬で栽培しているブルーベリーの木を自分で選び収穫し、思う存分『自然』と『ブルーベリー』を味わいたい方、ぜひご連絡下さい。

募集口数は10口(10組)とさせていただきます。詳細については下記お問い合わせまでご連絡下さい。

オーナー様がすること

- ① 5月頃、ちいろば園に来てブルーベリーの株(木)を選ぶ。
- ② 7月中旬~8月中旬頃、ブルーベリーの収穫。

★場所：ちいろば園 ★1口(1株)：3800円 ★申し込み期間：3月13日(水)まで
○お申し込みは電話にて、【お名前、ご住所、ご連絡先】をお知らせください。

(平日8:30~17:30)

※10組以上の応募があった場合は抽選のうえ決定させていただきます。

●お問い合わせ先：電話/0745-72-1923 担当/新宮

☆^{こうえんかいひ}後援会費・^{ねんかんこうどくりょう}ちいろばだより年間購読料 (2018年10月1日～2018年11月30日)

石井幹也、塚原一典、篠原範子、阪口寿久、浅井克哉、藤井博次、西村恭子



^{ことし}今年で^{えん かいえん しゅうねん}ちいろば園は開園30周年、^{なが あいだ}永い間の^{しえん かんしゃ}ご支援に感謝します。

そして、これからも、どうぞ、よろしく^{ねが}お願いします。...

★^{かいえいがかい}ちいろば会映画会^{あんない}のご案内★

^{がつ だい どよう}6月の第2土曜は、「^{えんげいかい}しろ」と^{えいがかい}演芸会と「^{かくねん}映画会」を^{もよお}隔年で催しています。

^{ことし}ことし ^{がつ にち ど}6月8日(土)は「^{えいがかい}映画会」の^{かいさい}開催です。

^{じょうえいさくひん}ことしの上映作品は、「^{せいにくてん}ある精肉店のはなし」(2014年 ^{ねん かんとく はなぶさ}監督: 瀨瀬 あや)です。

^{じょうえいご}上映後、^{いっばんざいだんほうじん}一般財団法人 ^{なら けんじんけん ぶらくかいほうけんきゅうしょ}奈良県人権部落解放研究所 ^{しよちょう}所長 ^{おおひらかずゆき}大平和幸さんの

^{こうえん}講演も^{よてい}予定しています。みなさんのご^{らいじょう}来場をお待ちしています。

どうぞ、みなさんのご^{よてい}予定に^い入れておいてください。

^{しょうさい}詳細は、^{じごう}次号のちいろばだよりで^しお知らせします。



KSKS ちいろばだより

編集人／	ちいろば会後援会	年6回 頒価 50円
連絡先／	奈良県生駒郡三郷町勢野北5-6-14	
	TEL : 0745-72-1923 FAX : 0745-31-5760	
発行人／	関西障害者定期刊行物協会	
	大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F	

二〇〇〇年十二月十二日 第三種郵便承認 毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行